

平成 30 年度診療報酬改定の結果検証に係る特別調査(令和元年度調査)
かかりつけ薬剤師・薬局の評価を含む調剤報酬改定の影響及び実施状況調査
診療所票

※この「診療所票」は、医薬品の適正使用のための残薬、重複・多剤投薬に関する取組、保険薬局との連携状況、お考え等についてお伺いするものです。

＜ご回答方法＞

- ・あてはまる番号を○（マル）で囲んでください。
- ・「※○は1つだけ」という質問については、あてはまる番号を1つだけ○で囲んでください。
- ・（ ）内には具体的な数値、用語等をご記入ください。
- ・（ ）内に数値を記入する設問で、該当なしは「0（ゼロ）」を、わからない場合は「－」をご記入ください。
- ・特に断りのない限り、令和元年6月末現在の貴施設の状況についてお答えください。
- ・災害に被災した等の事情により回答が困難な場合には、事務局へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

1. 貴施設の概要等についてお伺いします。

① 所在地	() 都道府県 ※都道府県名まで					
② 開設者※1 ※○は1つだけ	1. 国	2. 公立	3. 公的	4. 社会保険関係団体		
	5. 医療法人(社会医療法人を除く)	6. 会社	7. その他の法人	8. 個人		
③ 医療機関の種別 ※○は1つだけ	1. 有床診療所		2. 無床診療所			
④ 【有床診療所の場合】 許可病床数	一般病床 () 床	療養病床 () 床	精神病床 () 床	結核病床 () 床	感染症病床 () 床	診療所全体 () 床
⑤ 過去1年間の病床数の変更(平成30年4月～平成31年3月) ※○は1つだけ	1. 変更あり		2. 変更なし			
⑥ 標榜診療科 ※あてはまる番号すべてに○	1. 内科※2	2. 外科※3	3. 精神科	4. 小児科		
	5. 皮膚科	6. 泌尿器科	7. 産婦人科・産科	8. 眼科		
	9. 耳鼻咽喉科	10. 放射線科	11. 脳神経外科	12. 整形外科		
	13. 麻酔科	14. 救急科	15. 歯科・歯科口腔外科			
	16. リハビリテーション科	17. その他(具体的に)				
⑦ 貴施設における外来分離※4の有無 ※○は1つだけ	1. 外来分離をしている		2. 外来分離をしていない			
⑧ 医療情報連携ネットワーク※5への参加の有無 ※○は1つだけ	1. 参加あり		2. 参加なし			
⑨ 機能強化加算の届出の有無 ※○は1つだけ	1. 届出あり		2. 届出なし			

※1 開設者による分類は下記の通りです。

国 立 : 厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、独立行政法人労働者健康安全機構、国立高度専門医療研究センター、独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国)

公 立 : 都道府県、市町村、地方独立行政法人

公 的 : 日赤、済生会、北海道社会事業協会、厚生連、国民健康保険団体連合会

社会保険関係団体 : 健康保険組合及びその連合会、共済組合及びその連合会、国民健康保険組合

医療法人 : 医療法人(社会医療法人を除く)

会 社 : 株式会社等

その他の法人 : 社会医療法人、公益法人、医療生協、その他の法人

※2 内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科、アレルギー内科、リウマチ内科、心療内科、神経内科は、「1. 内科」としてご回答ください。

※3 外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、小児外科は、「2. 外科」としてご回答ください。

※4 「外来分離」とは、入院を行う医療機関及び医療従事者と外来を行う医療機関及び医療従事者とを分けるなど、医療機関から外来機能を外すことを指します。

※5 「医療情報連携ネットワーク」とは、地域において病病連携や病診連携など、主に電子カルテ情報を用いて医療情報の連携を行っているネットワークを指します。

⑩ 他の医療機関や訪問看護ステーション、薬局、居宅介護支援事業者等の関係機関の職員と情報共有・連携を行うために、ICT(情報通信技術)を活用していますか。また、活用している場合、どのような ICT を用いていますか。

1. ICT を活用している



活用している ICT
※あてはまる番号すべてに○

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 11. メール | 12. 電子掲示板 |
| 13. グループチャット | 14. ビデオ通話(オンライン会議システムを含む) |
| 15. 地域医療情報ネットワーク | 16. 自院を中心とした専用の情報連携システム |
| 17. その他(具体的に: |) |

2. ICT を活用していない

⑪ 全職員数(常勤換算※6)をご記入ください。

※小数点以下第1位まで

1) 医師	(.)人	6) リハビリ職※7	(.)人
2) 歯科医師	(.)人	7) 管理栄養士	(.)人
3) 保健師・助産師・看護師	(.)人	8) その他の医療職※8	(.)人
4) 准看護師	(.)人	9) 社会福祉士	(.)人
5) 薬剤師	(.)人	10) その他の職員	(.)人
		11) 合計	(.)人

※6 非常勤職員の「常勤換算」は以下の方法で計算してください。

■1週間に数回勤務の場合:(非常勤職員の1週間の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間)

■1か月に数回勤務の場合:(非常勤職員の1か月の勤務時間)÷(貴施設が定めている常勤職員の1週間の勤務時間×4)

※7 リハビリ職とは、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士を指します。

※8 その他の医療職とは、臨床工学技士、臨床検査技師等、その他の医療系資格を有する者を指します。

2. 医薬品の処方状況や保険薬局との連携状況等についてお伺いします。

		初診患者数	再診延べ患者数
① 外来患者数	※令和元年6月の1か月間	()人	()人
② 外来の院内・院外処方の割合	院内処方()%+院外処方()%=100% ※算定回数ベース		
③ いわゆる門前薬局の有無	※○は1つだけ	1. あり	2. なし
④ いわゆる敷地内薬局の有無	※○は1つだけ	1. あり	2. なし
⑤ 薬剤総合評価調整加算の算定回数	※平成30年4月～平成31年3月の1年間	()回/年	
⑥ 薬剤総合評価調整管理料の算定回数	※平成30年4月～平成31年3月の1年間	()回/年	
⑦ 連携管理加算の算定回数	※平成30年4月～平成31年3月の1年間	()回/年	
⑧ 多剤・重複投薬の削減への取組の有無	※○は1つだけ	1. あり	2. なし
【2. ⑧で「1. あり」と回答した場合】			
⑧-1 多剤・重複投薬の削減への取組のうち、特に効果があったものについて◎をつけて下さい。 また、貴施設が行っている取組にすべてに○をつけて下さい。 ※◎は1つだけ、○はあてはまる番号すべて			
1. お薬手帳等を利用した薬局での服用薬の把握			
2. 薬局の薬剤師との連携による服用薬の見直し			
3. 医薬品の適正使用に係る患者・家族向けの普及啓発の実施			
4. 厚生労働省「高齢者の医薬品適正使用の指針」を参考にした処方の見直し			
5. 薬局からの服用薬の情報等の提供			
6. 薬局からの処方提案			
7. その他(具体的に:)	

⑨ 平成 31 年 4 月以降における、30 日を超える長期投薬の院外処方箋発行の有無 ※○は 1 つだけ	1. 発行あり 2. 発行なし
【2. ⑨で「1. 発行あり」と回答した場合】 ⑨-1 長期処方における分割指示の有無（平成 31 年 4 月～令和元年 6 月の 3 か月間） ※○は 1 つだけ	1. 分割指示あり 2. 分割指示なし
【2. ⑨-1 で「1. 分割指示あり」と回答した場合】 ⑨-1-1 分割指示を行うことにより感じるメリットについてご選択ください。 ※あてはまる番号すべてに○	
1. 残薬の確認が行いやすい 2. 副作用等の確認が行いやすい 3. 患者の服薬管理を継続して行いやすい 4. 患者の状態や意見を反映しやすい 5. 長期処方しやすい 6. その他(具体的に:)	

3. 薬局との連携状況についてお伺いします。

①連携している薬局の数をご選択下さい。 ※○は1つだけ	
1. 1ヶ所 4. 不明(理由:) →例: 多地域から患者が通院しているため	2. 2～5ヶ所 3. 6ヶ所以上
② 薬局との連携内容のうち、特に効果があったものについて◎をつけて下さい。 また、薬局との連携内容にすべてに○をつけて下さい。(◎は 1 つだけ、あてはまる番号すべてに○) 特に「7. 貴院の求めに応じた薬局から貴院への患者の服用状況等の情報提供」を選択した場合、 薬局への情報提供依頼の方法等についてご選択ください。(あてはまる番号すべてに○)	
1. 薬局との間で勉強会・研修会の共同開催	
2. 臨床検査値の情報共有	
3. 化学療法(レジメン)の情報共有	
4. 退院時カンファレンスの参加	
5. 退院時サマリーの情報共有	
6. 患者の入院時の服用薬の情報共有	
7. 貴院の求めに応じた薬局から貴院への患者の服用状況等の情報提供 →情報提供依頼の方法: (71. 情報提供依頼文書 72. 口頭指示 73. 処方箋 74. その他(具体的に:)) →情報提供された内容のうち、貴院にとって役に立ったもの: (75. 当該患者の服用薬及び服薬状況 76. 当該患者に対する服薬指導の要点、患者の状態像 77. 当該患者が容易に又は継続的に服用できるための技術工夫等の調剤情報 78. その他(具体的に:) 79. 薬局から役に立つ情報は得られなかった)	
8. 貴院の求めによらない薬局から貴院への患者の服用状況等の情報提供	
9. 抗がん剤治療の副作用発生時の対応に関するプロトコルの共有	
10. その他(具体的に:)	
11. 薬局と連携していない	

4. その他

① 薬局との連携について、診療報酬改定の良い影響、問題点等がございましたら、ご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきまして、ありがとうございました。